



## アフリカの産業と 植民地支配の影響



上『高等学校 新地理総合』p.112 「1 熱帯の木々に囲まれた畑でのカカオの収穫」(コートジボワール、アビジャン近郊)、下「2 高原に広がる茶のプランテーション」(ケニア、キスム近郊)



『高等学校 新地理総合』(以下、教科書)の写真と地図帳の図版を使いながら、ワークシートを通して、地理総合における主題を追究していくコーナーです。第2回となる今回は、地域の産業と自然環境や他地域との関わりについて探究します。

### 広大な大陸と、そこに広がる多様な自然環境

アフリカ大陸は、面積約2964万km<sup>2</sup>、人口約13億806万人(2019年)、ユーラシア大陸(約5320万km<sup>2</sup>)に次ぐ広さで、人口増加率は他の各大陸よりも高い。南北幅は、北端の地中海周辺諸国から南端の南アフリカ共和国まで約8000kmに及ぶ(日本の領域で比較すると、最北端の択捉島から最南端の沖ノ鳥島までの距離が約3000km)。かつて Gondwana ランド(古生代から中生代にかけて存在したとされる大陸。アフリカのほかにインド、オーストラリア、南アメリカ、南極を含む)を形成した大陸の平均標高は約750m、北西端のアトラス山脈を除けば、全体としては安定陸塊の高原状の地形が大部分を占める。大陸東部のエチオピア高原からアフリカ大地溝帯、南部アフリカにかけての標高は、他の地域よりも高い。気候の特色では、気流に影響を与える大きな山脈がないため、緯線に沿う形で帯状に熱帯(大半がAf、Aw)、乾燥帯(BS、BW)が分布する。温帯(Cs、Cwが多い)は、緯度帯では熱帯にあたるが標高の高い地域や、地中海沿岸・大陸南端などの地域に分布する(『標準高等地図』p.119~120)。

カカオや茶のような、ある気候の下で栽培が可能な商品作物がアフリカで栽培されているのには、このような多様な自然が関係している。

### ヨーロッパ諸国によるアフリカの植民地支配とその影響

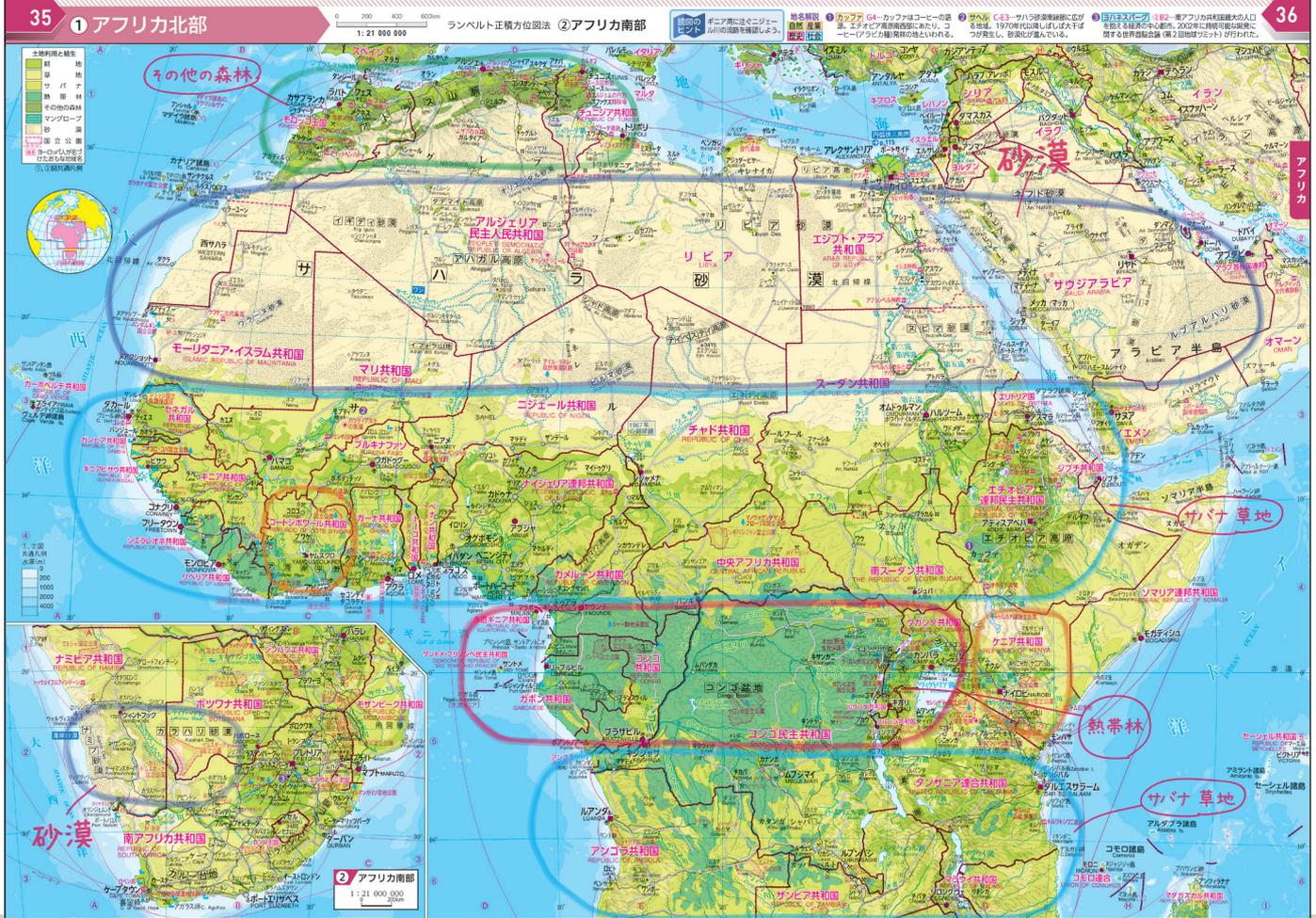
教科書p.110~111の内容に加え、歴史総合と関連させられれば、学習効果は高くなる。植民地支配の前史として、15世紀半ば、ポルトガルがインド洋への航路開拓の過程でモーリタニアの住民を捕え、本国へ送っ

たことが、奴隷貿易の始まりとされる。その後、ギニア湾沿岸へ進出したポルトガルは、金や象牙の交易も行った。経済覇権がスペインやポルトガルからオランダ、やがてイギリスやフランスへ移り、ベルリン会議(1884~1885年)の結果、「アフリカ分割」が急速に進んだ。19世紀に廃止されるまで続いた奴隷貿易で、アフリカから流出した人口は千数百万人と推定され、各地の伝統的な地域社会構造を壊してしまった。奴隷貿易廃止の後も、植民地支配により資源・産物をヨーロッパやアメリカへ供給する構造は変わらず、アフリカ地域の発展をはばむ大きな要因となった。

### アフリカの産業が抱える課題と、その取り組みに向けて

教科書p.113 6の図および『標準高等地図』p.149~150の統計資料を見ると、経済を支える輸出品目の多くは農産物や鉱産資源で占められ、その割合も高いモノカルチャー経済の状況となっていることが読み取れる。商品作物の栽培に力が注がれる一方、栄養不足人口の地域別割合では、アフリカの人口が約3割を占める実情がある(教科書p.178 1)。こうした課題に対し、「食料そのものの増産」という観点に立てば、アフリカ版の「緑の革命」は可能か、という議論につながる。また、経済的な分配の問題に着目すれば、生産者と消費者が直接つながる「フェアトレード」のような経済的関係の構築に向けた努力が求められる。生徒たちの探究活動では、どのような観点から自分たちが課題ととらえる事項に関わりたいかを明確にする過程も重要である。

田園調布学園中等部・高等部 山田 智之

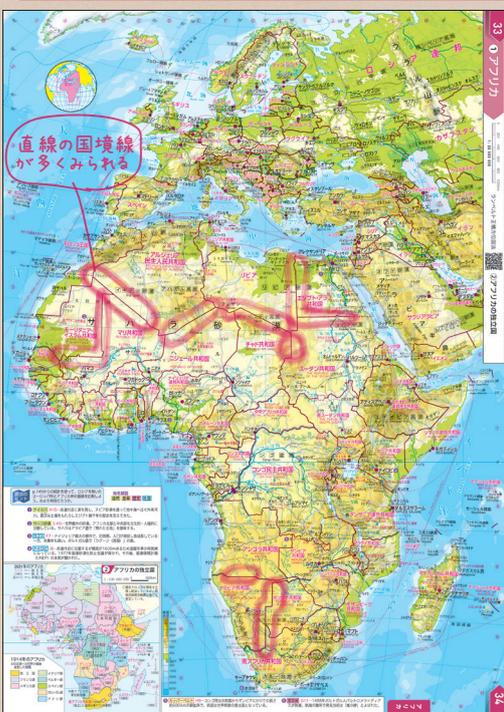


**読み取りのポイント**

- ①本誌p.2の写真に掲載されているコートジボワールとケニアの位置を確認し、およその緯度を調べよう。
- ②赤道・北緯10°・北回帰線・北緯30°の緯線周辺で、植生にどのような変化があるか、確かめよう。
- ③赤道以南の地域についても、②と同じように10°おきに植生の変化について確かめ、北半球側と比較しよう。

【標準高等地図】 p.35 ~ 36

これらは生徒に  
実際に地図帳に  
書き込ませながら  
確認させるとよい。



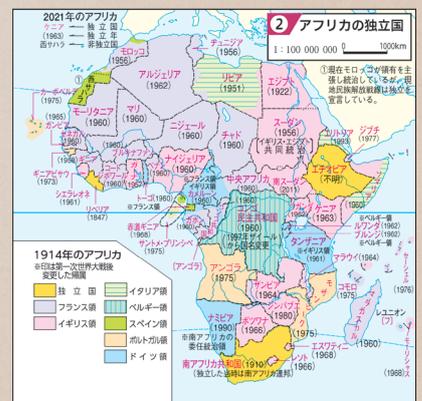
【標準高等地図】 p.33 ~ 34

**読み取りのポイント**

- ①アフリカ大陸は、赤道から南北にそれぞれ35°の緯線付近まで広がることを確認しよう。
- ②エチオピア高原からマラウイ湖にかけて見られるアフリカ大地溝帯を確認しよう。
- ③国境線が直線で区切られている国々を挙げてみよう。

**読み取りのポイント**

- ①アフリカ大陸で多くの植民地を得た国を、2つ挙げてみよう。
- ②①の国々が得た植民地は大陸内のどの地域に多いか読み取ろう。
- ③1914年時点での独立国を3つ挙げてみよう。



【標準高等地図】 p.34 「②アフリカの独立国」

**3つの図の読み取りのポイント**

広大なアフリカ大陸の特徴をとらえるにあたり、緯度に着目して気候や植生の変化を確認し、カカオや茶などの商品作物が栽培される地域との関連を考える。1800年代後半のヨーロッパの国々による植民地獲得競争により、1914年の時点で、ほぼ全域が植民地下に置かれた。商品作物の栽培は、その後のアフリカ経済に影響を与え、現在にまで続いている。

※すべて令和4(2022)年度以降版